

## Ⅲ 特別会計

## 競輪事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
競 輪 事 業	14,944,635,696	0	0	279,570,824	14,665,064,872

### 1 競輪開催事業費 3,480,828,280 円 (競輪事務所)

#### [総括]

昭和 24 年からスタートした競輪事業は、市民の身近な娯楽として親しまれているほか、公益財団法人 J K A への交付金等を通じて、機械工業の振興、体育事業をはじめとした公益の増進に寄与している。

平成 27 年度は、毎年開催している記念競輪に加え、国際自転車トラック競技大会に出場する選手の育成・強化及びその環境等の整備を行うために新設された『国際自転車トラック競技支援競輪』の第 1 回目を開催したことで、売上は前年度比で約 19% 増加した。その結果、前年度比 26% 増の 3 億 5 千万円の収益を確保し、一般会計へ 8 千万円繰出した。

施設面においては、老朽化した無停電電源装置を更新し不測の事態に備えるとともに、競輪場の現況及び課題の分析、顧客ニーズを把握することで、公営競技施設としての方向性を明確にし、平成 34 年度までの施設等の整備方針を示した施設等整備計画を策定した。

全国的に売上・入場者数の減少傾向が続く状況にある競輪事業だが、公営競技の目的である財政の健全化、公益の増進に貢献するため、さらなる収益の確保に努めていく。

#### [実績及び成果]

〔市営競輪開催実績〕(売上高) 14,493,788,600 円

区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		比 較			
開催回数	普通競輪	11回	16節	普通競輪	11回	14節	0.0%	△12.5%
	記念競輪	1	1	記念競輪	1	1	0.0	0.0
	—	—	国際自転車トラック 競技支援競輪	1	1	皆増	皆増	
	計	12	17	計	13	16	8.3	△ 5.9
開催日数	普通競輪	48日		普通競輪	42日		△12.5	
	記念競輪	4		記念競輪	4		0.0	
	—	—		国際自転車トラック 競技支援競輪	4		皆増	
	計	52		計	50		△ 3.8	
入場者数	普通競輪	延	34,877人	普通競輪	延	29,725人	△14.8	
	記念競輪	延	8,089	記念競輪	延	5,462	△32.5	
	—	—		国際自転車トラック 競技支援競輪	延	5,217	皆増	
	計	延	42,966	計	延	40,404	△ 6.0	
売上高	普通競輪	6,044,131,100円		普通競輪	3,974,299,100円		△34.2	
	記念競輪	6,111,167,000		記念競輪	5,326,853,400		△12.8	
	—	—		国際自転車トラック 競技支援競輪	5,192,636,100		皆増	
	計	12,155,298,100		計	14,493,788,600		19.2	

(1) 施設整備費 80,676,761 円

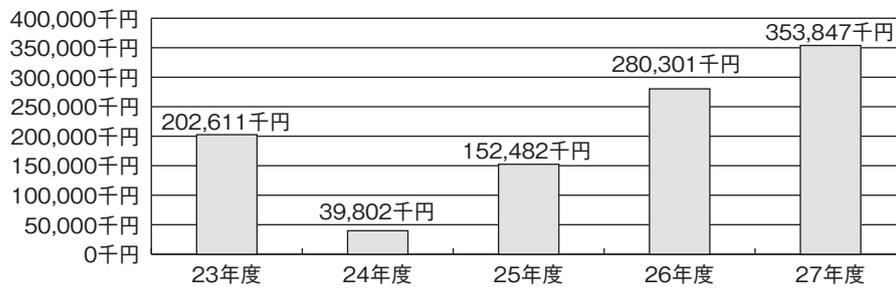
内 容	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
	競走路改修工事 特別観覧席改修工事 場内整備工事	

[指 標]

指 標 名：単年度収支

指標説明：(歳入総額－歳出総額)－前年度繰越金

※利子以外の財政調整基金収入(基金繰入金)は歳入に含まず、一般会計繰出金並びに  
利子以外の基金積立金は歳出に含まない



国民健康保険事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
国民健康保険事業	39,809,151,480	9,071,264,239	0	17,635,410,515	13,102,476,726

1 国民健康保険給付事業費 22,973,541,761 円 (国保年金課) < 公的医療保険の安定運営・医療費の適正な給付・助成 >  
[総括]

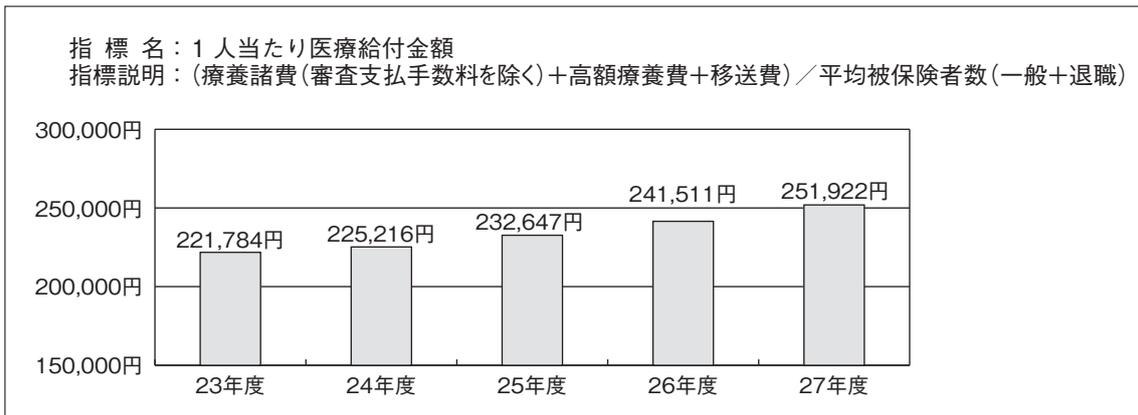
平成 27 年度は、少子化の影響等により被保険者数は減少したが、高齢化の進展、医療の高度化等により医療給付金額は増加した。今後とも医療費の適正化に努め、国、県、国民健康保険団体連合会等関係機関と協力して適切な保険給付事業の推進を図る。

[実績及び成果]

(1) 保険給付費 22,973,541,761 円

区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
医 療 給 付	1,443,889件	22,430,353,191円	1,435,768件	22,734,161,210円
出産育児一時金給付	389	162,419,820	403	164,087,110
葬 祭 費 給 付	531	26,550,000	463	23,150,000
審査支払手数料等	—	52,763,979	—	52,143,441
平均被保険者数	92,875人		90,243人	

[指 標]



2 国保税納税事務費 692,789 円 (納税課) < 公的医療保険の安定運営 >

[総括]

納期内納付の徹底と滞納者及び滞納金額の減少を目的として、効果的な啓発事業及び口座振替加入促進、的確迅速な収納整理、法に基づいた厳正な滞納整理に努めた。

[実績及び成果]

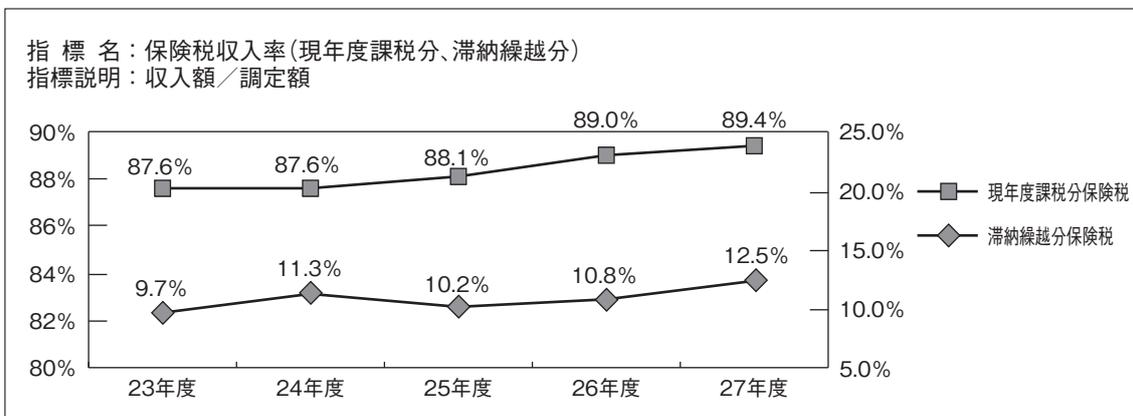
(1) 国保税収納整理事務費 566,990 円

現年度課税分保険税	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
	調 定 額	収 入 額	調 定 額	収 入 額
	9,587,579,900円	8,535,105,413円	9,317,279,400円	8,329,804,850円

(2) 国保税滞納整理事務費 125,799 円

滞納繰越分保険税	平成26年度		平成27年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
	6,035,706,271円	650,792,397円	5,594,548,789円	700,216,890円

[指標]



3 収納率向上特別対策事業費 8,209,463 円 (納税課・国保年金課) < 公的医療保険の安定運営 >

[総括]

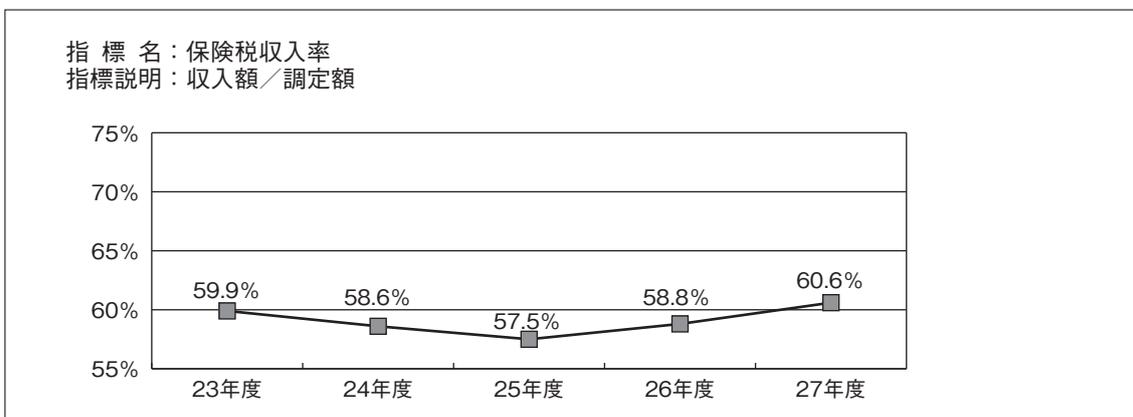
収納率向上の取組みとして、納税課に特別チームを設置し、臨戸訪問指導を強化するとともに、普通徴収の納付方法を口座振替に原則化した。また、督促・催告業務、コールセンターを活用した電話催告、口座振替の勧奨、納期の周知等を実施し、納税意識の向上、早期の納付勧奨に努めた。今後もさまざまな取組みにより収納率の向上を図る。

[実績及び成果]

(1) 収納率向上特別対策事業費 8,209,463 円

区 分	平成26年度		平成27年度	
	調定額	収入額	調定額	収入額
現年度課税分保険税	9,587,579,900円	8,535,105,413円	9,317,279,400円	8,329,804,850円
滞納繰越分保険税	6,035,706,271	650,792,397	5,594,548,789	700,216,890
国民健康保険税	15,623,286,171	9,185,897,810	14,911,828,189	9,030,021,740

[指標]



4 特定健康診査等事業費 230,235,489 円（健康増進課）＜疾病対策の推進＞

[総括]

特定健康診査では、受診率の向上に向け、多くの集客が見込まれるイベントでの啓発活動、メタボ川柳の募集、出前講座等を行った。特定保健指導では、受講しやすい保健指導の体制づくりに努め、個別訪問や電話による受講勧奨を行った。また、データヘルス計画において課題分析を行い、今後の取組み目標を設定した。今後も引き続き受診者数の増加等に努め、糖尿病等の生活習慣病予防に向けた保健事業を推進していく。

[実績及び成果]

(1) 特定健康診査事業費 228,365,547 円

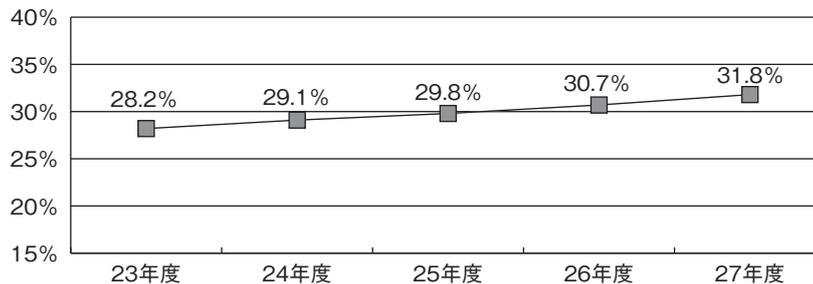
特定健康診査	平成26年度		平成27年度	
	受診券発送者数	受診者数	受診券発送者数	受診者数
	65,715人	20,155人	64,836人	20,592人

(2) 特定保健指導事業費 1,869,942 円

区分		平成26年度	平成27年度
初回面接 利用者数	動機付け支援	214人	192人
	積極的支援	37	27

[指標]

指標名：特定健康診査受診率  
 指標説明：受診者数／受診券発送者数



## 総合動植物公園事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
総合動植物公園事業 <総合動植物公園の整備充実>	2,126,954,568	225,434,000	544,600,000	37,299,953	1,319,620,615

### 1 総合動植物公園管理運営事業費 949,879,426 円 (動植物公園)

#### [総括]

平成 27 年 4 月には待望のキリンの公開が始まり、10 月には新リスザル舎・パタスザル舎、28 年 1 月にはコツメカワウソ舎、3 月には遊園地エリアに新たな目玉となるのんほいサーキットがオープンし、着実に整備を進めた。季節毎のイベントでは、27 年 7 月に市民・来園者の皆さまへの日頃の感謝の気持ちを込めたファン感謝デー(27.7.18・7.19、入園無料)を開催したほか、ナイトガーデン・おーたむナイトガーデンでの新規企画を充実させ、リピーターの満足度向上とともに、新規来園者の獲得にも努めた。

このような取組みの結果、年間入園者数は前年度比で 13.7% 増となった。今後も効果的なプロモーション活動の展開やリニューアル事業の実施により 100 万人プロジェクトを積極的に推進していく。

#### [実績及び成果]

##### [動植物公園入園状況]

区 分	平成 26 年度	平成 27 年度	比 較
開 園 日 数	312日	314日	0.6%
入 園 者 数	延 678,537人	延 771,759人	13.7
動 物 の 展 示	140種	132種	△ 5.7
	917点	859点	△ 6.3
植 物 の 展 示	2,556種	2,660種	4.1
遊 具 設 置 数	13機	14機	7.7
遊 具 利 用 者 数	延 958,070人	延 1,015,750人	6.0

#### [施設整備]

内 容	平成 26 年度	平成 27 年度
	ゴマファザラシ舎整備工事 洋式トイレ整備工事 駐車場整備工事	

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| (1) 動物園等管理運営事業費 | 182,322,744 円 |
| (2) 施設管理事業費     | 456,935,800 円 |
| (3) 施設営繕事業費     | 264,315,470 円 |
| (4) イベント企画運営事業費 | 38,369,198 円  |

(ア) イベント開催費

内 容	平成26年度	平成27年度
	ゴールデンウィークイベント(26.4.26～5.6・11日間) サマーイベント(26.7.26～8.31・37日間) ナイトガーデン サマー(26.8.11～8.17・7日間連続開催) オータム(26.9.5～9.7、9.12～9.15・7日間) 秋のイベント(26.10.25～11.30・37日間) 新春イベント(27.1.2～1.4、11、12、18・6日間) 春のイベント(27.3.21、22、26、28、29・5日間)	ゴールデンウィークイベント(27.4.25～5.6・12日間) サマーイベント(27.7.22～8.30・36日間) ナイトガーデン サマー(27.8.10～8.16・7日間連続開催) オータム(27.9.12、13、9.19～9.23・7日間) 秋のイベント(27.10.31～11.29・26日間) 新春イベント(28.1.2～1.4、9、10、24・6日間) 春のイベント(28.3.19～20、26～27・4日間) のんほいサーキット オープニングセレモニー(28.3.21)

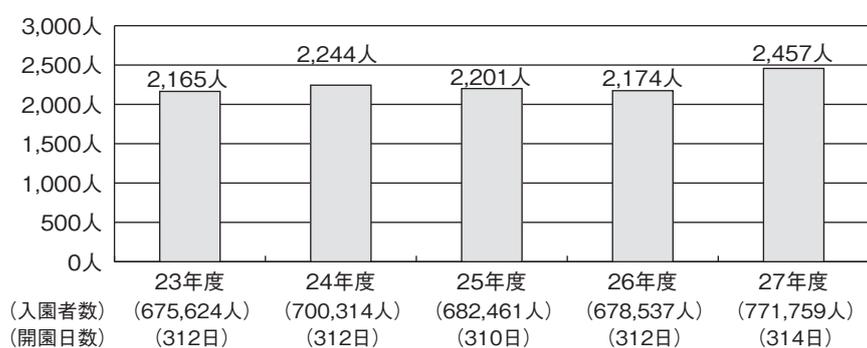
(イ) シティプロモーション事業費

	平成26年度	平成27年度
内 容	鉄道を利用した広域に向けたP R 名古屋市営地下鉄中吊広告 (26.8.11～8.17・7日間)	鉄道を利用した広域に向けたP R 名古屋市営地下鉄中吊広告 (27.8.12～8.18・7日間)
	地下鉄全車両への中吊ポスター (B3 ワイド版) 掲出	地下鉄全車両への中吊ポスター (B3 ワイド版) 掲出
	JR東海道本線中吊広告 (26.8.11～8.17・7日間)	JR東海道本線中吊広告 (27.8.6～8.12・7日間)
	東海道本線(米原～熱海)の普通、 快速全車両への中吊ポスター (B3 ワイド版) 掲出	東海道本線(米原～熱海)の普通、 快速全車両への中吊ポスター (B3 ワイド版) 掲出
	JR飯田線中吊広告 (26.8.11～8.17・7日間)	JR飯田線中吊広告 (27.8.12～8.18・7日間)
	飯田線全車両への中吊ポスター (B3 ワイド版) 掲出	飯田線全車両への中吊ポスター (B3 ワイド版) 掲出
	若年層を対象としたラジオCM ZIP-FMでのラジオCM(20秒)放送 (26.7.22～7.26、8.4～8.10の間、計23 回)	若年層を対象としたラジオCM ZIP-FMでのラジオCM(20秒)放送 (27.7.13～7.17、9.7～9.18の間、計28 回)
	サービスエリアでのマイカー利用者へ のP R	サービスエリア等でのマイカー利用者 へのP R
	新東名高速道路サービスエリアでのデ ジタルサイネージ映像配信(7か所)	リーフレットスタンド設置(9か所) (27.8.1～8.31・31日間)
	リーフレットスタンド設置(3か所) (26.8.1～8.31・31日間)	東名高速道路浜名湖サービスエリアで のポスター広告(B2版)掲出 (27.8.1～8.31・31日間)
	東名高速道路浜名湖サービスエリアで のポスター広告(B0版、B2版)掲出 (26.8.1～8.31・31日間)	ハイウェイマップへの広告掲載 (27.6.1発行)
	サービスエリアガイドへの広告掲載 (26.7.1発行)	セグウェイガイドツアーの拡大 平日開催(毎週水曜日、27.6.3～)
	セグウェイガイドツアーの拡大 定員拡大3名→6名(26.5.24～) 定員拡大6名→8名(27.3.8～)	ファン感謝デー (27.7.18～7.19・2日間)
	開園60周年記念ファン感謝デー開催 (26.7.26～7.27・2日間)	中日新聞(西三河版・遠州版)P R のんほいパーク新聞(7月号)
	ナイトガーデンの拡充(開催時期・期間の拡大) サマー(26.8.11～8.17・7日間連続開催) オータム(26.9.5～9.7、9.12～9.15・7日間)	遠州エリアへのP R 袋井市エコイベントへのPRブース出展 (27.7.4～7.5)
	ウォーキングイベント新規開催(27.3.15)	ウォーキングイベント開催 (27.11.22、28.3.12)

(5) 全国都市緑化あいちフェア事業費 7,936,214 円

[指 標]

指 標 名：総合動植物公園 1 日当たりの入園者数  
 指標説明：入園者数／開園日数



2 総合動植物公園リニューアル事業費 606,134,640 円（動植物公園）

[総 括]

本格的に獣舎整備工事が始まり、今年度はリスザル舎、パタスザル舎、コツメカワウソ舎が完成し、園の魅力向上に努めた。

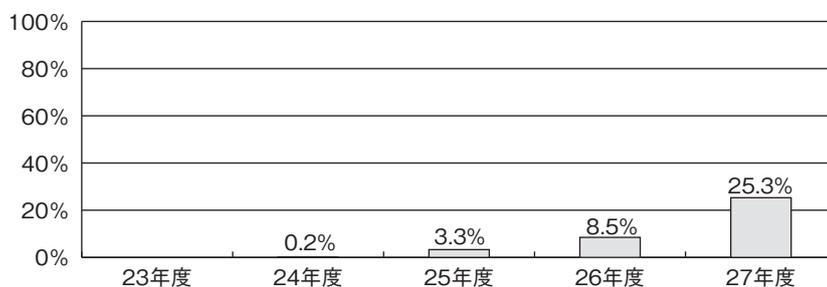
[実績及び成果]

(1) 総合動植物公園リニューアル事業費 606,134,640 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	アジアゾウ舎屋内展示場実施設計 ジェットコースターの更新 新規遊具施設(バトルファイアー)の整備	

[指 標]

指 標 名：総合動植物公園リニューアル事業進捗率  
 指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成24年度～32年度)



## 公共駐車場事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
公共駐車場事業 ＜生活道路の整備＞	193,016,284	0	0	188,641	192,827,643

### 1 公共駐車場管理運営事業費 95,088,480 円（土木管理課）

〔総括〕

中心市街地における駐車環境を整えることで、路上駐車解消や歩行者の交通安全確保を図っている。平成27年度は、利便性の向上及び利用者の拡大のため、前年度より引き続き歩行者天国開催期間中の駐車料金値下げ、穂の国とよはし芸術劇場プラットと連携した割引などを行った。また、施設整備として公共駐車場のパソコン管理システムを更新し、安全性の向上のために松葉公園地下駐車場の監視カメラの更新も行った。今後も安全で快適な駐車場をめざし、質の高いサービスの提供と効率的な管理運営を図っていく。

〔実績及び成果〕

#### (1) 公共駐車場管理運営事業費 95,088,480 円

区 分	平成26年度	平成27年度
施設管理費	9,303,920円	16,542,152円
指定管理料	66,832,000	66,832,000
施設整備費	2,646,000	11,714,328

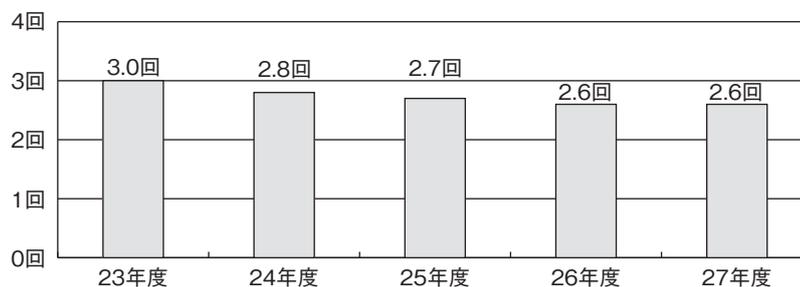
〔利用状況〕

区 分	平成26年度			平成27年度		
	年間 利用総台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 普通駐車時間	年間 利用総台数	1日平均 利用台数	1台あたり平均 普通駐車時間
駅前第1公共駐車場	181,441台	497台	67分	169,751台	464台	66分
駅前第2公共駐車場	229,476	629	88	233,687	638	88
松葉公園地下駐車場	70,505	193	122	77,507	212	116

※普通駐車は一泊利用（打切り）、定期利用を除く

〔指 標〕

指 標 名：公共駐車場1日平均回転率  
 指標説明：1日平均利用台数／駐車場収容台数



地域下水道事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
地域下水道事業 <下水道整備と浸水対策の推進>	1,058,355,164	83,410,922	108,000,000	28,109,871	838,834,371

1 農業集落排水施設建設事業費 154,600,000 円 (下水道整備課)

[総括]

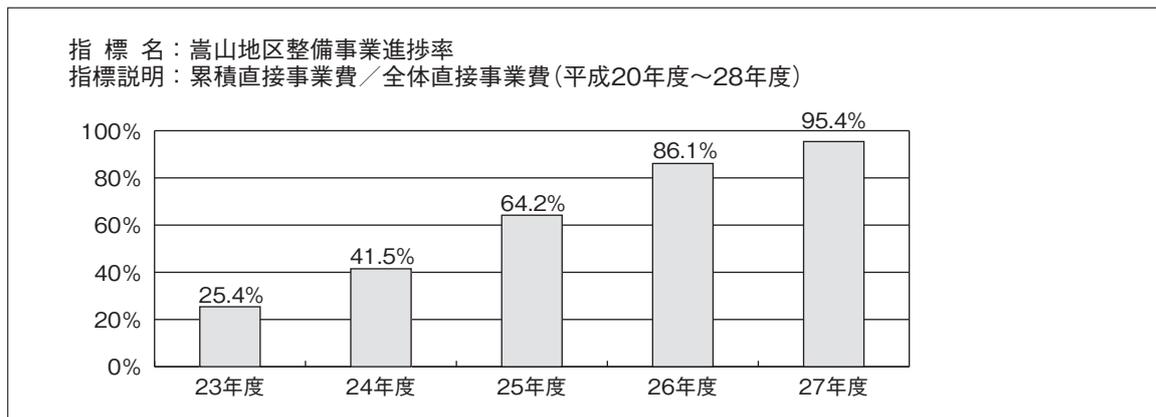
平成20年度に事業着手した高山地区整備事業において、27年度は管渠布設等を実施し、排水戸数477戸、排水人口1,284人、排水面積60.00haの全地区が供用区域となり、整備事業の進捗率は95.4%となった。今後も、事業の有効性など十分に検討する中で整備を行っていく。

[実績及び成果]

(1) 高山地区整備事業費 154,600,000 円

内 容	平成26年度	平成27年度
	処理場 建築、電気、場内整備 管渠(φ75mm~φ200mm)延長4,059m 水道管移設等 一式	

[指標]



2 処理場再編事業費 12,116,520 円 (下水道整備課)

[総括]

処理場の老朽化に伴い、植田処理場の機能を野依台処理場に統合するための汚水送水管実施設計を実施した。今後も、処理場の効率的かつ適正な維持管理の実現に向けて十分に検討し、工事コスト縮減に努め、計画的に事業を進めていく。

[実績及び成果]

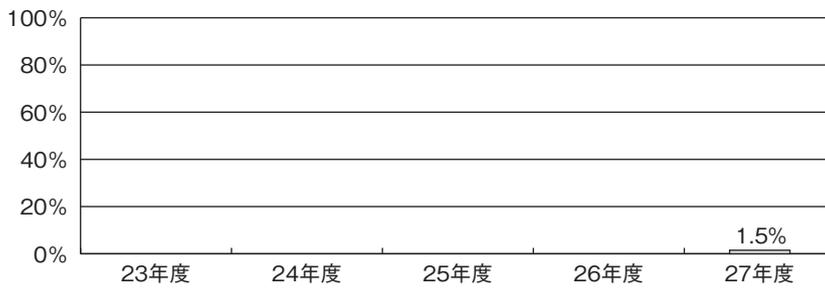
(1) 処理場再編事業費 12,116,520 円

内 容	平成26年度	平成27年度
		—

[指 標]

指 標 名：処理場再編事業進捗率

指標説明：累積直接事業費／全体直接事業費(平成27年度～31年度)



## 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
母子父子寡婦福祉資金貸付事業 <ひとり親家庭等の自立支援>	47,431,254	0	0	10,807,700	36,623,554

### 1 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 47,431,254 円 (こども家庭課)

#### [総括]

母子父子寡婦福祉資金貸付制度は、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づき、ひとり親家庭等の福祉増進を目的として、「現に20歳未満の児童を扶養している、配偶者のない女子または男子」及び「かつて配偶者のない女子として児童を扶養していたことのある、配偶者のない女子」に対して貸付を行うものであり、その貸付金の種類としては修学資金、就学支度資金、修業資金等がある。

27年度は、貸付件数・貸付金額ともに26年度より増加しており、その約8割が、子の修学や就学支度に係る資金となっている。今後も、ひとり親家庭等の経済的自立や生活の向上を図るため、貸付制度の積極的な活用を促していく。

#### [実績及び成果]

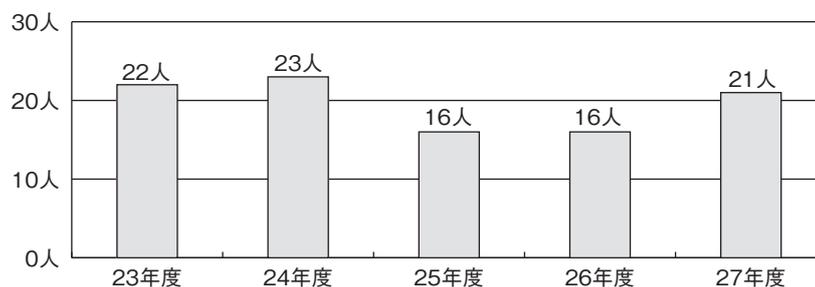
#### (1) 母子父子寡婦福祉資金貸付事業 47,431,254 円

#### [貸付状況]

区 分	平成26年度	平成27年度
母子福祉資金貸付件数	16件	21件
父子福祉資金貸付件数	0	0
寡婦福祉資金貸付件数	0	0
計	16	21
母子福祉資金貸付金額	8,603,800円	10,807,700円
父子福祉資金貸付金額	0	0
寡婦福祉資金貸付金額	0	0
計	8,603,800	10,807,700

#### [指 標]

指 標 名：母子父子寡婦福祉資金貸付事業借入者数  
 指標説明：〃



## 介護保険特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
介 護 保 険	20,536,242,599	7,058,224,266	0	5,451,064,301	8,026,954,032

### 1 介護保険事務費 283,020,846 円 (長寿介護課) <介護保険サービスの充実>

[総括]

要介護・要支援認定にかかる有効期間が平成24年に延長されて以降、はじめて要介護等認定審査件数が減少したが、適正な要介護認定業務が行えるよう、審査会において審査基準を再確認し、審査判定の平準化に努めた。介護保険料については、第6期事業計画による保険料の改定を行ったが、低所得の方(第1段階)の保険料額は負担軽減措置により前事業計画とほぼ同水準とした。また、長期滞納者にかかる徴収事務の一部を債権管理課に移管し、収納率向上に努めた。今後も介護保険制度の軸となる介護認定と介護保険料の賦課徴収を適切に行う。

[実績及び成果]

[被保険者数]

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
第1号被保険者	65歳以上75歳未満	48,499人	49,213人	1.5%
	75歳以上	39,961	41,411	3.6
第2号被保険者		医療保険加入者	医療保険加入者	—

[申請受付件数]

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
新規申請		3,608件	3,429件	△ 5.0%
更新申請		9,186	8,781	△ 4.4
変更申請		1,457	1,525	4.7
合 計		14,251	13,735	△ 3.6

#### (1) 介護認定事務費 262,181,029 円

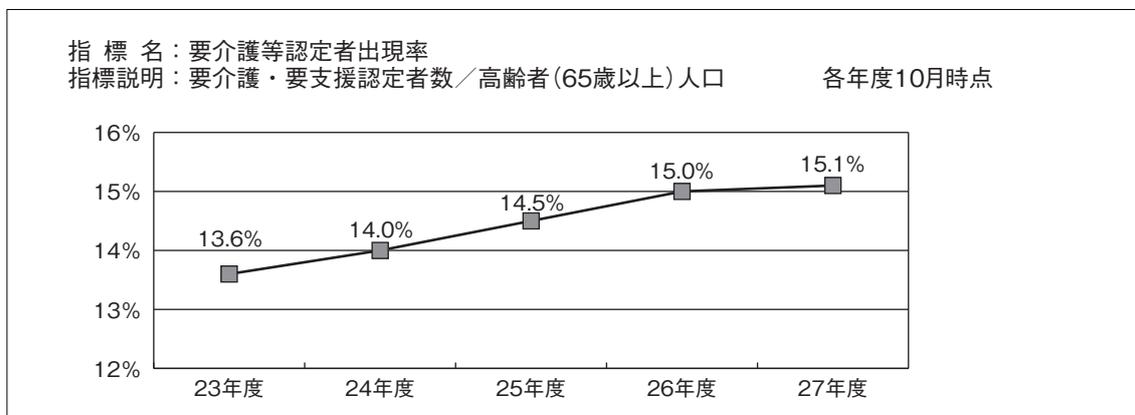
区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
要介護等認定調査件数		14,138件	13,732件	△ 2.9%
要介護等認定審査件数		13,943	13,704	△ 1.7
要介護等認定状況	要支援1	2,161人	2,266人	4.9
	要支援2	2,026	2,106	3.9
	要介護1	2,268	2,403	6.0
	要介護2	2,183	2,237	2.5
	要介護3	1,613	1,695	5.1
	要介護4	1,662	1,648	△ 0.8
	要介護5	1,255	1,192	△ 5.0
	合 計	13,168	13,547	2.9

#### (2) 保険料賦課徴収事務費 19,008,881 円

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
保険料賦課 年間実員	特別徴収	76,478人	79,376人	3.8%
	普通徴収	11,987	11,249	△ 6.2
督促状発送件数		14,975件	14,124件	△ 5.7
口座振替利用者数(普通徴収)		3,967人	3,748人	△ 5.5

- (3) 介護保険事業所指定事務費 1,269,936 円  
 (4) 東三河広域連合介護保険事業負担金 561,000 円

[指標]



2 介護保険給付事業費 19,550,508,566 円（長寿介護課）＜介護保険サービスの充実＞

[総括]

平成 27 年度は介護保険制度の改正があり、介護保険給付事業について影響を受けた。介護保険給付費は、介護報酬の減額改定により、27 年度は前年度比 2.3%の増となっている。（前年度は 5.4%の増）また、他の制度改正の影響として、高額サービスの利用者増加、特定入所者介護サービスの利用者の減少などがあった。

今後も介護サービスの利用が増加すると見込まれるが、介護支援専門員の資質の向上を図るなど介護保険給付事業の適正化に努める。

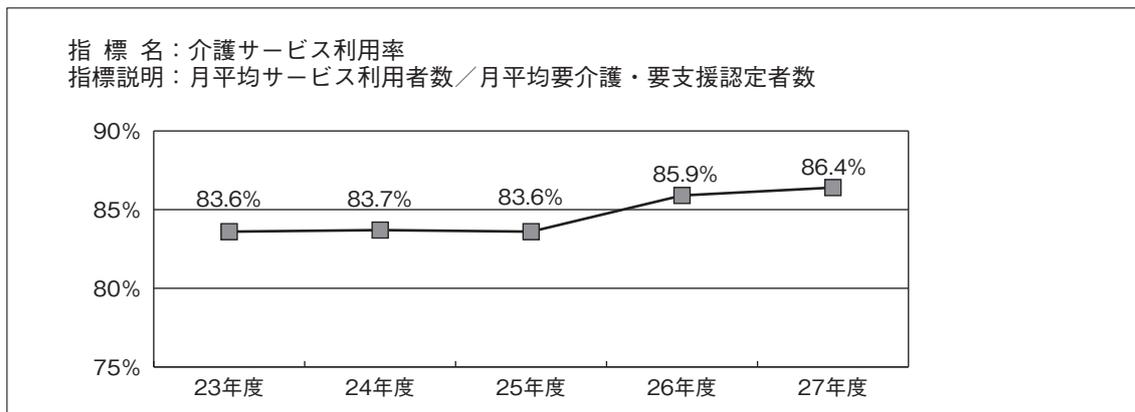
[実績及び成果]

区 分		平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	比 較
介護サービス 給付受給者数	在 宅	74,434人	78,318人	5.2%
	施 設	23,235	22,319	△ 3.9
介護予防給付 受給者数	在 宅	36,128	38,875	7.6
特別給付受給者数		11,256	11,759	4.5
審査支払手数料		315,784件	333,524件	5.6
高額サービス費 受給者数	生活保護受給者等	2,609人	2,233人	△14.4
	市民税世帯非課税者	24,297	25,801	6.2
	上記以外の者	4,427	5,783	30.6
高額医療合算サービス受給者数		1,659	1,795	8.2
特定入所者介護サービス受給者数		20,232	18,830	△ 6.9
介護保険給付事業費		19,109,195,969円	19,550,508,566円	2.3

- (1) 介護サービス給付事業費 17,196,880,734 円  
 (2) 介護予防給付事業費 1,265,329,894 円  
 (3) 特別給付事業費 98,152,955 円  
 (4) 高額サービス事業費 342,959,885 円  
 (5) 高額医療合算サービス事業費 47,046,499 円

(6) 特定入所者介護サービス事業費 600,138,599 円

[指 標]



3 介護予防事業費 32,531,746 円（長寿介護課）＜高齢者の介護予防・健康づくりの推進＞

[総 括]

二次予防事業対象者に対しては、通所型又は訪問型の介護予防サービスを提供した。一般の高齢者に対しては、介護予防に関する知識の普及とともに、介護予防の教室終了後は地域における自主的な活動が継続的に行えるよう支援した。今後も高齢者が健康に関心を持ち、介護予防や健康づくりへの参加を促す普及啓発事業や介護予防事業を推進する。

[実績及び成果]

(1) 通所型介護予防事業費 16,480,473 円

区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
二次予防事業対象者	実人員	113人	実人員	107人
通所介護事業委託料	延人員	3,617	延人員	3,615

(2) 訪問型介護予防事業費 4,606,827 円

区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
二次予防事業対象者	実人員	37人	実人員	32人
自立支援員派遣事業委託料	派遣回数	1,504回	派遣回数	1,371回
給食サービス事業費	実人員	40人	実人員	25人
	配食数	2,460食	配食数	2,049食

(3) 介護予防評価事業費 2,570,321 円

(4) 介護予防普及啓発事業費 7,683,455 円

区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
介 護 予 防 教 室	実施回数	444回	実施回数	547回
	延人員	9,988人	延人員	11,268人

(5) 地域介護予防活動支援事業費 476,499 円

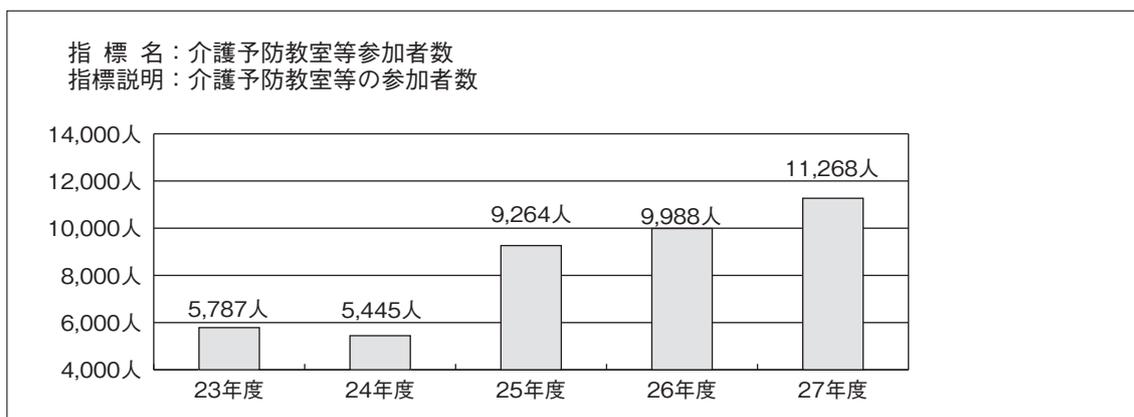
区 分	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
介 護 予 防 活 動 に 取 り 組 む グ ル ー プ	グループ数	10グループ	グループ数	15グループ

(6) 地域リハビリテーション活動支援事業費 594,163 円

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
リハビリテーション 専門職による支援	—	実施回数 30回

(7) 総合事業精算金 120,008 円

[指 標]



4 包括的支援事業費

272,410,353 円（長寿介護課）＜高齢者の生活支援の推進＞

[総 括]

高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターにおいて、介護・福祉に関する総合相談、権利擁護、介護予防の推進など、地域団体や関係機関と連携して高齢者の支援を行った。今後も地域包括支援センターは、地域の高齢者支援の拠点として、保健師・社会福祉士・主任ケアマネージャーの3職種が、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくための総合的な支援を行う。また、地域包括ケア体制の構築に向けて認知症総合支援事業、生活支援体制整備事業、在宅医療・介護連携推進事業を開始した。

[実績及び成果]

(1) 地域包括支援センター運営事業費 256,897,320 円

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
地域包括支援センター 運 営 事 業 費	委託先 18施設	委託先 18施設
	相談受付件数 16,942件	相談受付件数 16,896件

(2) 総合相談支援事業費 1,107,387 円

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
高 齢 者 虐 待 防 止 ネットワーク運営委員会	委託先 1施設	委託先 1施設
	実施回数 2回	実施回数 2回

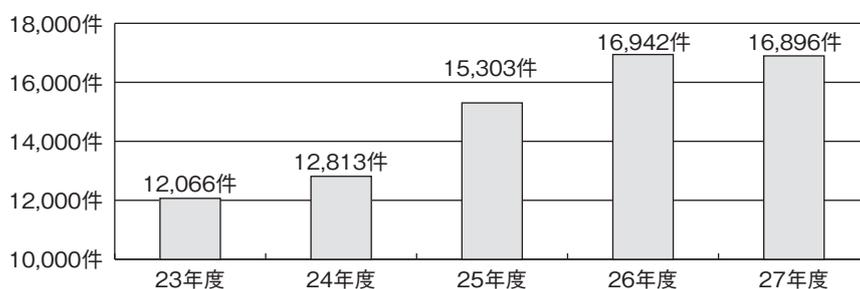
(3) 認知症総合支援事業 13,641,480 円

(4) 生活支援体制整備事業 751,766 円

(5) 在宅医療・介護連携推進事業 12,400 円

[指標]

指標名：地域包括支援センター相談受付件数  
 指標説明：地域包括支援センターが訪問、来所、電話により相談を受けた件数



5 家族介護支援事業費

12,401,938 円（長寿介護課）＜高齢者の生活支援の推進＞

[総括]

要介護認定者を在宅で介護する家族の精神的・経済的負担を軽減するため、介護用品や慰労金の支給、認知症介護家族支援講座を開催した。今後も事業の周知とともに、サービスの利用促進を図る。

[実績及び成果]

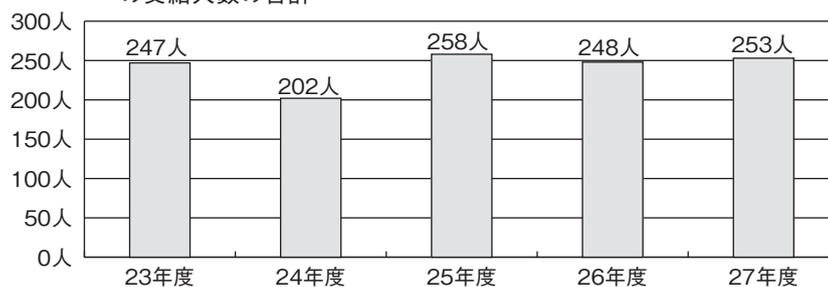
(1) 家族介護支援事業費

12,401,938 円

区分	平成26年度	平成27年度
家族介護用品の支給	155人	156人
認知症介護家族の支援	講座参加者数 92	講座参加者数 107
家族介護慰労金の支給	1	5

[指標]

指標名：家族介護支援事業利用者数  
 指標説明：介護家族用品の支給人数、認知症介護家族支援講座の参加人数、家族介護慰労金の支給人数の合計



※指標の見直しにより、平成23年度より認知症介護家族支援講座の参加者を含む

6 地域自立生活支援事業費

14,723,760 円（長寿介護課）＜高齢者の生活支援の推進＞

[総括]

要介護・要支援認定者をはじめとした支援を必要とする高齢者が、地域において安心して生活ができるよう、日常生活を支援するサービスやシルバーハウジング入居者への生活相談、安否確認等を行った。また、認知症高齢者等の徘徊による事故を未然に防止するため、徘徊・見守りSOSネットワークにより見守り支援を行ったほか、成年後見制度の利用支援を行った。今後も高齢者の地域における生活を維持・継続するため、サービスの利用促進を図る。

[実績及び成果]

(1) 高齢者生活支援事業費 4,293,735 円

区 分	平成26年度		平成27年度	
寝具乾燥事業委託料	実世帯	154世帯	実世帯	166世帯
	延回数	660回	延回数	707回
訪問理美容サービス事業費	実世帯	23世帯	実世帯	19世帯
	延回数	64回	延回数	61回
生活・介護支援サポーター養成事業費	受講修了者数	42人	受講修了者数	42人
	実施会場数	5会場	実施会場数	5会場
高齢者安心生活サポート事業費	サポーター登録者数	102人	サポーター登録者数	126人
	支援先世帯数	14世帯	支援先世帯数	11世帯
徘徊・見守りSOSネットワーク運営事業費	事前登録者数	263人	事前登録者数	290人
	発見活動依頼件数	20件	発見活動依頼件数	22件

(2) 生活援助員派遣事業費 9,423,409 円

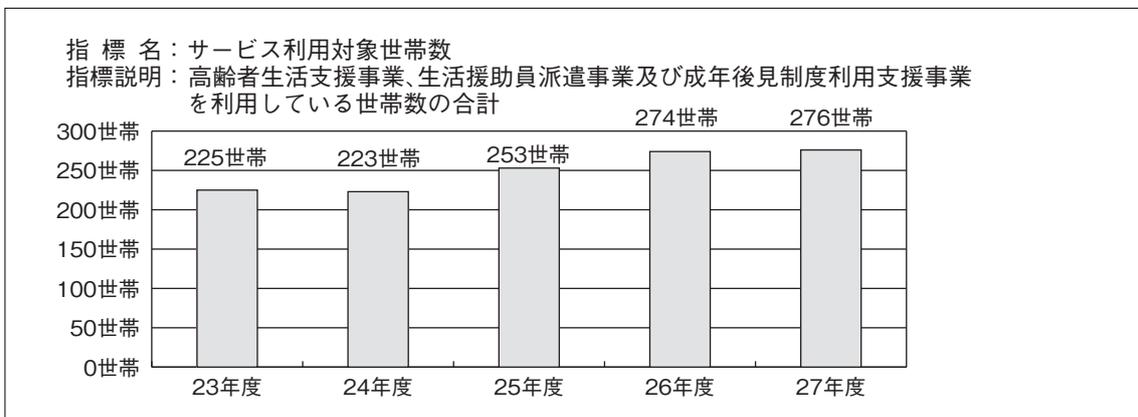
区 分	平成26年度	平成27年度
対象世帯	66世帯	68世帯

(3) 成年後見制度利用支援事業費 19,026 円

区 分	平成26年度	平成27年度
審判申立件数	6件	3件
報酬助成件数	3	3

(4) 運動機能向上事業費 987,590 円

[指標]



7 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業費 7,570,076 円（長寿介護課）＜高齢者の生きがいづくり・社会参加の促進＞

[総括]

高齢者の生きがいと健康づくりを推進するため、各種スポーツ大会の開催や振興、シニアフェスティバル開催、生きがいづくりの事業委託を行い、高齢者の健康保持や社会参加の促進を図った。今後も高齢者が健康で生きがいを持った生活を送ることができるように、高齢者のニーズに合った事業を実施し、参加の促進を図る。

[実績及び成果]

- (1) シルバースポーツ大会開催事業費 881,381 円

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
参 加 人 員	300人	300人

- (2) 高齢者福祉大会・シニアフェスティバル開催事業費 279,512 円

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
高齢者福祉大会参加人員	400人	400人

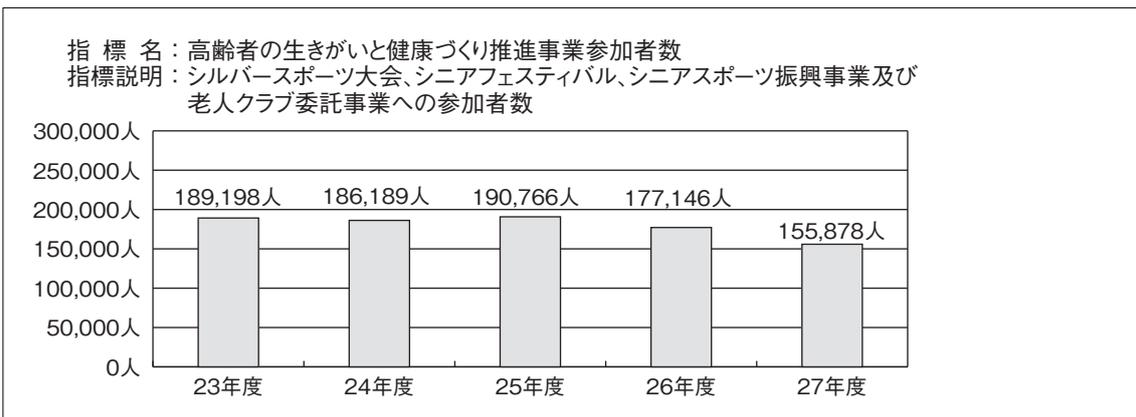
- (3) シニアスポーツ振興事業費 707,620 円

区 分	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度
参 加 人 員	2,683人	2,583人

- (4) 老人クラブ委託事業費 5,701,563 円

内 容		平成 2 6 年度		平成 2 7 年度	
健康で生きがいのある まちづくり推進事業費	清 掃 奉 仕	実施団体	60団体	実施団体	58団体
	趣味の作品展開催	参加作品	222作品	参加作品	207作品
趣 味 の 教 室 開 催 事 業 費	囲碁・将棋大会開催	参加人員	76人	参加人員	86人
	趣味の教室開催	212教室 参加人員	延 9,965回 延160,270人	204教室 参加人員	延 9,320回 延140,696人

[指 標]



※指標の見直しにより、平成 26 年度より参加者の把握方法変更

## 後期高齢者医療特別会計

会計名	決算額等 決算額 (円)	財 源 内 訳 (円)			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
後期高齢者医療 ＜公的医療保険の安定運営・疾病対策の推進＞	6,863,791,813	0	0	124,352,791	6,739,439,022

### 1 後期高齢者医療事務費 159,857,222 円 (国保年金課・健康増進課)

#### [総括]

保険料未納者への滞納整理を強化し、催告や納付相談等を行い接触の機会を増やすとともに、必要に応じて滞納処分を行い、収納率の維持、向上に努めた。健康診査事業では、特定健康診査に合わせてイベント等啓発活動を実施し、受診率の向上を図った。

#### [実績及び成果]

#### (1) 窓口事務費 40,393,419 円

被 保 険 者 数	平成26年度	平成27年度	比 較
		41,787人	43,194人

※豊橋市が後期高齢者医療被保険者証の引き渡しをしている数

#### (2) 徴収事務費 9,176,505 円

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
保険料徴収対象 年間実員	特別徴収	30,641人	31,740人	3.6%
	普通徴収	11,146	11,454	2.8
督促状発送件数		5,012件	4,597件	△ 8.3
口座振替利用者数 (普通徴収)		6,384人	6,772人	6.1

#### (3) 健康診査事務費 110,287,298 円

区 分		平成26年度	平成27年度	比 較
対 象 者 数		40,313人	41,933人	4.0%
受 診 者 数		9,719	10,539	8.4

#### [指 標]

指 標 名：被保険者1人当たりの月受診件数  
指 標 説 明：月平均受診件数／月平均被保険者数

